

主要産地における令和5年産水稻の生育状況等について 第7報 (令和5年7月6日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和5年7月6日)

道府県	区分	生育状況等 (自治体等公表資料の名称)		技術・助産・気象等関連公表資料 (自治体、気象台公表資料の名称)	(参考)
		生育状況等	生育状況等		
北海道	(生育)	【生育状況 (6月15日現在)】	【生育状況】	【全国】 エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い (90%) (気象庁 6月9日付)	令和5年度の品種構成の概況
		【生育】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で年並が多く、オホーツク海側と太平洋側は、ほぼ年並の見込み。日照時間は、ほぼ年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)  北海道太平洋側は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁札幌管区気象台)	・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。  (農林水産省 令和5年3月15日) (出典資料は以下同じ)
青森	(生育)	【県生育観測所の生育状況 (6月30日現在)】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は年並が多く、日照時間は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「まっしぐら」及び「つがるロマン」を中心とする品種構成となっている。
		【生育】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「まっしぐら」及び「つがるロマン」を中心とする品種構成となっている。県オリジナル品種である「殿のりすく」が、耐乾性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
岩手	(生育)	【6月26日現在】(県内農業改良普及センター 一斉調査)	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県オリジナル品種である「殿のりすく」が、耐乾性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
		【生育】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県オリジナル品種である「殿のりすく」が、耐乾性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
宮城	(生育)	【6月30日現在】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
		【生育】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
秋田	(生育)	【6月30日現在】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
		【生育】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。近年、多収型への作付移行が行われている。
山形	(生育)	【6月30日現在】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。近年、多収型への作付移行が行われている。
		【生育】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。近年、多収型への作付移行が行われている。
福島	(生育)	【6月26日現在】(県内農業改良普及センター 一斉調査)	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、多収型への作付移行が行われている。
		【生育】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ年並の見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)  東北地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、多収型への作付移行が行われている。
茨城	(生育)	【6月29日現在、水戸市】対年連速	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は年並が高い見込み。降水量は、年並が多い見込み。(気象庁東京管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。なか、オリジナル品種「とちまの星」が増加傾向にある。
		【生育】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は年並が高い見込み。降水量は、年並が多い見込み。(気象庁東京管区気象台)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。近年、多収型への作付移行が行われている。
栃木	(生育)	【6月27日現在、龍ヶ崎】対年連速	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は年並が高い見込み。降水量は、年並が多い見込み。(気象庁東京管区気象台)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。近年、多収型への作付移行が行われている。
		【生育】	【生育】	【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)  【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は年並が高い見込み。降水量は、年並が多い見込み。(気象庁東京管区気象台)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。近年、多収型への作付移行が行われている。

千 葉	(生育状況等)		
(生育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月20日に移植した「コシヒカリ」は6月22日頃(平年より1日早い)、「駒すけ」は6月22日頃(平年並)に幼穂形成期を迎えている。</li> <li>また、5月1日に移植した「コシヒカリ」は6月28日頃(平年より1日遅い)から幼穂形成期となる。</li> </ul> <p>(千葉県 6月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は、平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>関東甲信地方は7月12日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「ふさごゆめ」及び「ふさごゆめ」を中心とする品種構成となっている。令和2年産から令和3年産への品種転換が開始されている。</li> </ul>
新潟	<p>(6月29日現在の県内全域の生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」では指播種(生育のめやす)に比べ、草丈は「並」、葉数は「やや多い」、葉数の進み及び葉色は「並」の生育状況。</li> <li>「新之助」では指播種に比べ、草丈、葉数、葉数の進み及び葉色はすべて「並」の状況。(新潟県農林水産部 6月30日付)</li> </ul> <p>(生育)</p> <p>(柏崎) (6月29日現在) 草丈はやや長く、葉数、葉数の進みは並。本年の出穂期は平年より2日程度早くと予想される。 (指播種) 「コシヒカリ」: 草丈104%、葉数99%、葉数0.1葉。 「こいしふき」: 草丈100%、葉数99%、葉数0.1葉。(柏崎地域農業振興協議会 7月5日付)</p> <p>(十日町) (6月29日現在) 「コシヒカリ」生育調査用の生育(指播種比・差)は、草丈「並」、葉数「並」、葉数の進み「並」、葉色「並」となっている。田植えの遅い生育品種では、幼穂形成期は、平年より2日遅い7月14日頃と見込まれる。 (十日町農業普及指導センター・十日町地域農業振興協議会高沼米振興部会 7月6日付)</p> <p>(佐渡) (6月29日現在) 「コシヒカリ」生育状況(観測9地点平均、移植日平均5月9日付) ・草丈(やや長)、葉数(やや多)、葉数(並)、葉色(並)。(佐渡農業普及指導センター 6月29日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月12日頃からかなりの高温。 (新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「こいしふき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきんずり」「つきあかり」及び「あすほの輝き」が増加傾向にある。また、穂が重く新米品種「新之助」(晩熟種)の作付拡大を推奨している。</li> </ul>
富山	<p>【7月4日現在】(生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」平年に比べ、草丈、葉数、葉色は並、葉数はやや少なくなっている。幼穂形成期は、平年並の7月11日頃と見込まれる。今後、気温が平年並に推移すると、出穂期は平年並の8月1日頃と見込まれる。</li> <li>「てんたかく」平年に比べ、草丈、葉数、葉色は並、葉数はやや少なくなっている。今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は平年並に比べ1日早い7月15日頃と見込まれる。</li> <li>「てんこもり」平年に比べ、草丈、葉数、葉色は並、葉数は0.3葉遅れている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈はやや長く、葉数、葉色は並となっている。幼穂形成期は、近年に比べ2日遅い7月15日頃と見込まれる。今後、気温が平年並に推移すると、出穂期は平年に比べ2日遅い8月6日頃と見込まれる。</li> <li>「富富富」近年に比べ、草丈、葉数、葉色は並、葉数は0.3葉遅れている。葉数を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈はやや長く、葉数、葉色は並となっている。幼穂形成期は、近年に比べ2日遅い7月15日頃と見込まれる。今後、気温が平年並に推移すると、出穂期は近年に比べ2日遅い8月6日頃と見込まれる。</li> </ul> <p>(富山県 7月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月12日頃からかなりの高温。 (新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温急激でも品質が安定している「てんたかく」及び「てんこもり」種のトウゾクランに位置づけられている「富富富」が増加傾向にある。</li> </ul>
石川	<p>【6月8日現在】</p> <p>(草丈)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」: 平年比95～134% (県平均107%、加賀: 104%、能登: 110%) 平年並～長く、前年に比べてやや長い。</li> <li>「ゆめみづほ」: 平年比90～121% (県平均108%、加賀: 105%、能登: 112%) 平年に比べてやや長い～長く、前年に比べて長い。</li> <li>「ひやくまん穀」: 近年比89%～129% (県平均106%、加賀: 112%、能登: 103%) 近年並～長く、前年に比べてやや長い～長い。</li> </ul> <p>(葉数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」: 平年比76～159% (県平均104%、加賀: 105%、能登101%) 平年及び前年並。</li> <li>「ゆめみづほ」: 平年比94～166% (県平均111%、加賀: 104%、能登120%) 平年及び前年に比べて並～多い。</li> <li>「ひやくまん穀」: 近年比72～189% (県平均114%、加賀: 105%、能登129%) 近年及び前年に比べて並～多い。</li> </ul> <p>(葉齢)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>葉齢期間は、「コシヒカリ」は平年及び前年並、「ゆめみづほ」も平年及び前年並。「ひやくまん穀」は近年及び前年と比べ2日程度早い。</li> </ul> <p>(石川県農林総合研究センター農業試験場 6月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月12日頃からかなりの高温。 (新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年、穂が重く新米品種「ひやくまん穀」が増加傾向にある。</li> </ul>
福井	<p>【6月28日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本年は生育初期から葉数が少く推移してきたが、6月中旬から下旬にかけて葉数が増加し、ほとんどの圃場で葉数を確保している。</li> </ul> <p>(水田農業レベルアップ委員会栽培普及部会 6月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は7月12日頃からかなりの高温。 (新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「ハナエゼン」を中心とする品種構成であるが、近年、新品種である「いらほまれ」が増加傾向にある。</li> </ul>
長野	<p>【標高348m須原市八重森の農業試験場における水稲生育状況 移植後40日(あきたこまち、コシヒカリ、黒さやか)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主穂葉数はほぼ平年並。草丈は「あきたこまち」は平年並、「コシヒカリ」「黒さやか」は平年より短い。葉数は平年に比べ、「あきたこまち」は多く、「コシヒカリ」は少なく、「黒さやか」はやや少ないが平年並に近づきつつある。</li> </ul> <p>(生育)</p> <p>【標高1017m原村の原村試験地における水稲生育状況 移植後40日(きりりん、ゆめしなの、あきたこまち)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主穂葉数、葉数はいずれの品種も平年より進んでいる。草丈は平年並～やや長い。全体的に生育は前進傾向であるが、6月5日前がやや低温傾向であり、移植後30日時点と比べ、生育の進みはやや遅くなったと考えられる。</li> </ul> <p>(長野県農業試験場 7月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>関東甲信地方は7月12日頃からかなりの高温。 (気象庁)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成であるが、近年、新品種である「あきたこまち」の導入を推進している。</li> </ul>
滋賀	<p>【水稲作況調査(6月20日時点)による】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草丈は「みずかがみ」「コシヒカリ」ともに平年並であった。</li> <li>葉数は「みずかがみ」「コシヒカリ」ともに平年より少なかった。</li> <li>葉色は「みずかがみ」は平年並、「コシヒカリ」はやや濃かった。</li> <li>「あきたこまち」は「コシヒカリ」ともに平年並であった。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月28日現在、「みずかがみ」「コシヒカリ」は幼穂形成期(幼穂1.0mm)に達していないが平年並の時期となる見込み。</li> </ul> <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月26日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>近畿地方は7月12日頃からかなりの高温。 (大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」、「千代ヒカリ」、「みずかがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温差特性に優れた「みずかがみ」の作付が促進されている。</li> </ul>
兵庫	<p>【6月28日時点】</p> <p>(県北) 「コシヒカリ」の草丈は平年並、葉数はかなり多く、葉色の濃度はやや早い。遅播種では、草丈は平年並、葉数はかなり多く、葉色の濃度はやや早い。</p> <p>(県北以外) 葉色の濃度は平年並～やや早く、草丈は平年並。</p> <p>(兵庫県 7月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>近畿地方は7月12日頃からかなりの高温。 (大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「千代ヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。</li> </ul>
岡山	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲早生種の生育は概ね平年並である。</li> </ul> <p>(岡山県 6月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は7月12日頃からかなりの高温。 (広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</li> </ul>
広島	<p>【6月20日調査】広島県総合技術研究所農業技術センター一圃場(東広島市八本松町)</p> <p>( )内は平年値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」(密植) 草丈: 39.2(40.3) cm、葉数: 437(405) 本/m<sup>2</sup>、葉色(SPAD値) 42.2(40.7)、葉齢7.8(8.4)</li> <li>「あきたこまち」(密植) 草丈: 34.7(35.0) cm、葉数: 488(424) 本/m<sup>2</sup>、葉色(SPAD値) 41.6(39.0)、葉齢9.6(8.6)</li> <li>「コシヒカリ」(密植) 草丈: 34.2(33.7) cm、葉数: 422(416) 本/m<sup>2</sup>、葉色(SPAD値) 40.2(40.4)、葉齢7.5(8.5)</li> <li>「志の平郷」(普通播種) 草丈: 39.1cm、葉数: 227本/m<sup>2</sup>、葉色(SPAD値) 41.4、葉齢8.5</li> <li>「あきたこまち」(普通播種) 草丈: 36.5cm、葉数: 308本/m<sup>2</sup>、葉色(SPAD値) 45.1、葉齢8.5</li> </ul> <p>(広島県総合技術研究所農業技術センター 6月23日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は7月12日頃からかなりの高温。 (広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」、「あきたこまち」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</li> </ul>

(生育状況等)			
愛 媛	<p>【2023年度「ひめの涙」の生育状況（7月3日現在）】</p> <p>(5月22日移植 6月30日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草丈(cm) 43.7、葉数(本/㎡) 503、一株あたり葉数(本/株) 33.2、葉色(SPAD値) 34.4</li> </ul> <p>(6月1日移植 6月30日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草丈(cm) 34.7、葉数(本/㎡) 227、一株あたり葉数(本/株) 15.0、葉色(SPAD値) 38.1</li> </ul> <p>(6月14日移植 7月3日調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草丈(cm) 32.3、葉数(本/㎡) 191、一株あたり葉数(本/株) 13.0、葉色(SPAD値) 39.0</li> </ul> <p>(愛媛県農林水産研究所 7月6日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並、日照時間は平常並が多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並が多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月7月7日～8月7日、ヒメトビウカの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月14日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。</li> </ul>
高 知	<p>【6月報】</p> <p>(早期型) 移植期～出穂期、時期：並、生育：並</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月に入って雨の日が多いが、草丈はほぼ平常並、分けつ数は平常並～やや多く、出穂時期は極早生品種、「コシヒカリ」ともほぼ平常並で推移している。</li> </ul> <p>(普通型) 分けつ期、時期：並、生育：並</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田植えはほぼ終了し、順調に生育しているが、一部で移植後まひもちの影響を受けている場所が見られる。</li> </ul> <p>(高知県病害虫防除所 7月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並、日照時間は平常並が多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並が多い見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>四国地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月7月7日～8月7日、ヒメトビウカの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月14日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</li> </ul>
福 岡	<p>【6月15日現在】</p> <p>【早期水稲】(夢つくし、コシヒカリ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>田植え後、多雨の影響により、草丈は平常よりやや高く、葉数は少ない。ウンカ類の発生は確認されていない。</li> <li>4月下旬植えの出穂期は7月4月中旬頃で、平常よりやや遅くなる見込み。</li> </ul> <p>【普通水稲】(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>苗の生育は概ね順調。育苗期の不安定な天候により、一部で軟腐病や病気の発生が見られる。</li> <li>現在、収穫後の状態でも田植えが始まり、平地地の「夢つくし」は6月上中旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が収穫期となる見込み。</li> </ul> <p>(福岡県農林業総合試験場 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並、日照時間は平常並が多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並が多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は7月12日頃からかなりの高温。(福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月7月7日～8月7日、ヒメトビウカの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月14日付)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。</li> </ul>
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並、日照時間は平常並が多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並が多い見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>九州北部地方は7月12日頃からかなりの高温。(福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの輝き」はリーディング品種として取組いが年々拡大している。</li> </ul>
宮 崎	<p>【作物の生育状況（6月中旬）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>早期水稲は穂ばらみ期、普通水稲は移植前後。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月30日)</li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並、日照時間は平常並が多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並が多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みさ35」への作付誘導が進められている。</li> </ul>
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月8日～8月7日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並、日照時間は平常並が多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平常並が多い見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>九州南部地方は7月12日頃からかなりの高温。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつづのか」への移行が急速に進んでいる。</li> </ul>

注1：園及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料と本表記載情報とで取り違え。  
注2：生育状況等（最終報告公表資料の最終）については令和5年7月6日 13時時点での取り違え。  
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道農政部 6月21日)、  
農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月21日)、  
農作物生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月21日)、  
農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌振興局 6月21日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月21日)、  
稲作生産情報第5号(青森県 7月5日)、  
令和5年度産岩手県内の水稲の生育概況(6月26日現在速報)(岩手県 6月27日)、  
令和5年度産水稲の生育状況について(6月30日現在)(宮城県みやぎ米推進課生産販売班 7月3日)、  
仙台稲作情報2023(第4号)(宮城県仙台農業改良普及センター 7月3日)、  
令和5年度稲作情報第4号(宮城県亶理農業改良普及センター 7月3日)、  
令和5年度産仙南稲作情報(第3号)(宮城県大河原農業改良普及センター 7月4日)、  
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 7月6日閲覧)、  
令和5年度第1号東南おきたま つや姫だより(山形県置賜農業技術普及課 7月4日)、  
令和5年度第2号東南おきたま 雪若丸だより(山形県置賜農業技術普及課 7月4日)、  
つや姫だより穂肥特別号(山形県庄内総合支庁農業技術普及課 7月3日)、  
雪若丸情報穂肥診断編(山形県庄内総合支庁農業技術普及課 7月3日)、  
「こおりやまの米」通信 生育状況速報(6月20日現在)(郡山市農作物生産対策協議会 6月26日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月4日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月28日)、  
水稲生育診断速報No.3(栃木県農政部経営技術課 6月23日)、  
水稲の生育と当面の対策第4報(千葉県農林水産部 6月28日)、  
水稲の生育と今後の管理対策(第4号)(新潟県農林水産部 6月30日)、  
柏崎・刈羽地域稲作だよりNo.5(柏崎地域農業振興協議会 7月5日)、  
令和5年度稲作生育速報No.4(佐渡農業普及指導センター 6月29日)、  
十日町地域稲作生育速報(令和5年6月30日)(十日町農業普及指導センターほか 7月6日)、  
TACS情報第6号(富山県 7月4日)、  
令和5年度産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-3号)(石川県農林総合研究センター 6月9日)、  
稲作情報No.9(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月30日)、  
農業試験場水稲試験圃の生育状況(令和5年)(長野県農業試験場 7月5日)、  
水稲高標高試験圃の生育状況(令和5年)(長野県農業試験場 7月5日)、  
令和5年度水稲生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月26日)、  
令和5年度兵庫県農業気象技術情報No.3(7月情報)(兵庫県農林水産部 7月5日)、  
令和5年度病害虫発生予報第4号(岡山県 6月28日)、  
水稲生育状況(令和5年6月20日現在)(広島県立総合技術研究所農業技術センター 6月23日)、  
2023年度「ひめの凜」の生育状況(7月3日現在)(愛媛県農林水産研究所 7月6日)、  
病害虫発生予報情報について 令和5年度病害虫発生予察6月月報(高知県病害虫防除所 7月4日)、  
福岡県の主な農作物の生産状況(令和5年6月15日現在)(福岡県農林業総合試験場 6月22日)、  
令和5年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月30日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(7月6日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(7月6日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(7月6日気象庁)、  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(7月6日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(7月6日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(7月6日広島地方気象台)、  
四国地方こう1か月の天候の見通し(7月6日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(7月6日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(7月6日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月20日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月20日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月20日気象庁)、  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月20日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月20日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月20日広島地方気象台)、  
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月20日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月20日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月20日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(7月6日14時45分 気象庁)、  
エルニーニョ監視速報(Na.369)について(気象庁 6月9日)、

「令和5年度病害虫発生予報第3号」(農林水産省 6月14日)、  
令和5年度産水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月15日)